

ドイツ文学 専攻 \_\_\_\_\_ 領域 ( 博士前期/修士・博士後期・前後期共通 )

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( )

外国語

解答例：

1.

2.

3.

## 専門科目

### 1.

#### 評価基準：

##### 1. 読解力

- ・テキストの主旨および論理構造を正確に把握しているか。
- ・重要概念・専門用語を適切に理解しているか。
- ・誤読や恣意的解釈が見られないか。

##### 2. 論点の再構成力

- ・主要論点を的確に抽出しているか。
- ・細部の羅列や逐語的翻訳に終始していないか。
- ・議論の流れを踏まえて全体を再構成できているか。

##### 3. 専門的知識の活用

- ・対象を文学史・思想史・文化史の中に適切に位置づけているか。
- ・重大な年代的・概念的誤りがないか。
- ・参考文献の議論と既有知識を適切に接続できているか。

##### 4. 論述力

- ・論理的に整った文章構成となっているか。
- ・主観的感想に流れていないか。
- ・学術的説明としての体裁を保っているか。

##### 5. 総合的研究適格性

- ・大学院における研究遂行に必要な基礎的能力が総合的に備わっていると判断できるか

### 2.

#### 評価基準：

##### 1. 文学史的・歴史的文脈の理解

設問に関連する文学的事象を、時代背景や文学史の流れの中で適切に位置づけて説明できているか。

##### 2. 概念・テーマの的確な把握

設問で問われている概念について、その特徴や意義を的確に理解し、明晰に説明できているか。

##### 3. 具体例の適切な提示

説明に際して、代表的な作家・作品・事例が適切に挙げられ、設問内容と無理なく結びつけられているか。

#### 4. 因果関係・相互関係の理解

文学作品・形式・思想・社会的状況などの間にある関係性を的確に理解し、明晰に示しているか。

#### 5. 記述の簡潔さと構合力

解答用紙5～6行という制限の中で要点を整理し、論点の明確な記述がなされているか。

#### 6. 学術的記述としての適切さ

学術的文体が用いられ、主観的・感想的表現に偏っていないか。基本的な日本語表現に不備がないか